





## 陰謀と欲望渦巻く、東西冷戦の象徴“ベルリン”

高級ホテルでの武器取引を描いた手に汗握るオープニングシーンから、観る者を一気に引き込むストーリー展開。監視、盗聴、尾行と、韓国と北朝鮮の息づまるスパイ戦を発端に、アメリカ、イスラエル、アラブ組織が絡んでくるプロットは先読みを一切許さない。緻密に練り上げられた物語は、周到な伏線やトリックが随所にちりばめられ、驚愕の結末へと向かう。まさに、映画史上に残るハイブリッドスパイアクションが誕生した。

物語の背景は、現代のドイツ首都ベルリン。東西冷戦時代には世界各国のスパイが暗躍し、諜報戦を繰り広げたシンボリックな古都を舞台に、秘密諜報員たちの熾烈な攻防を描き出す。キム・ジョンイルから息子のキム・ジョンウンへと権力が世襲された朝鮮半島情勢の“今”を視野に入れたその内容は、このうえなく大胆にしてスリリング。大規模なヨーロッパ・ロケを敢行した映像の壮大さ、重厚さと相まって、空前絶後の見応えを観る者に約束する。

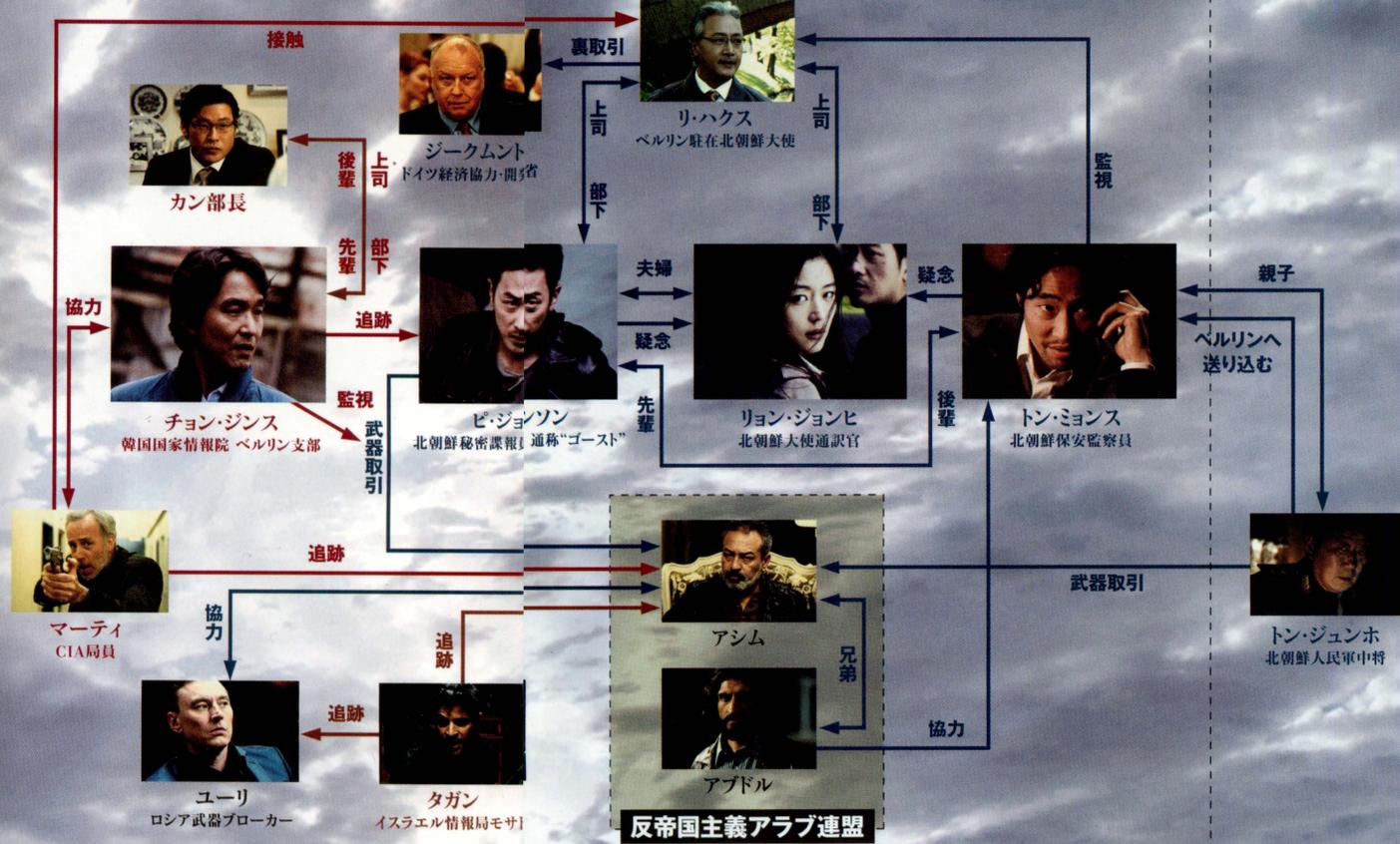


## 究極のキャスト&監督が仕掛けた罠

騙し合いと裏切りのサスペンス、国際的な謀略のミステリーに濃密なエモーションを吹き込むのが、豪華キャストのアンサンブル。正体不明な“ゴースト”と呼ばれる北朝鮮諜報員ジョンソンには、『チェイサー』の実力派俳優ハ・ジョンウ。その美しくも秘密を隠し持つ妻ジョンヒ役は『猟奇的な彼女』のチョン・ジヒョン。さらに『シュリ』のハン・ソッキュがスパイ・ジャンルへの待望の本格復帰を果たし、韓国エージェント、ジンスを熱演。また、監督&脚本を『クライング・フィスト 泣拳』『生き残るための3つの取引』などストーリーテラーとして名高いリュ・スンワンが手掛け“ワールドクラス”のエンタテインメントとして作り上げた。

## 複雑な人物関係の中に見える陰謀

### CORRELATION DIAGRAM



## STORY

アラブ組織との武器取引現場を韓国情報院要員ジンスに察知され、からくもその場から脱出した北朝鮮諜報員ジョンソン。なぜ、このトップシークレットが南に漏れたのか? まもなく、北の保安監察員ミンスの証言から、妻ジョンヒに二重スパイ疑惑がかけられていると知ったジョンソンは、祖国への忠誠心と私情の板挟みになり苦悩を深めていく。しかしジョンソンは、まだ気づいていなかった。すでに彼自身までが、恐るべき巨大な陰謀に囚われていたことに。CIA、イスラエル、中東そしてドイツの思惑も交錯し世界を巻き込んだ戦いが“陰謀都市ベルリン”で始まる。生き残るのは果たして—



### ベルリンと北朝鮮の関係

北朝鮮は世界160数か国と国交を結んでいるが、大使館を相互設置している国は24か国。そのうちの1か国がこの映画の舞台のドイツである。ベルリンの壁が崩れ、東独が崩壊するまではベルリンにある北朝鮮の大使館は欧州では最大規模を誇っていた。建物も、外交官の数も縮小されたもののクリントン政権下ではミサイル交渉が、ブッシュ政権下では金融制裁解除をめぐる交渉がこの地で行われ、北朝鮮にとって外交活動の拠点としての重要性は今も、変わらない。

日本中を席卷し、韓国映画界のハリウッド進出の礎となった、あの『シュリ』から14年。韓国スパイアクションは更なる進化を遂げ、衝撃とともに日本に上陸する。